



全職員対象 必須研修 eラーニング

従来の医療安全
eラーニングの
1/4以下のコストで、
学べる医療安全研修

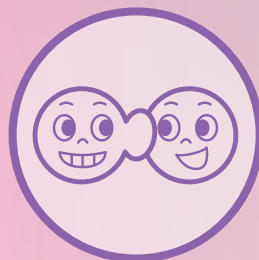
全職員への
ID・パスワード
を配布
確認テスト付き

施設基準として全職員に義務付けられている
「医療安全研修」と「感染予防対策研修」をはじめ、
病院職員に必須のテーマを揃えました。

必須研修

2025年度 ●身体的拘束最小化 追加！
●意思決定支援

- 医療・患者安全
- 感染予防対策
- 災害対策
- 重症度、医療・看護必要度
- BLS
- メンタルヘルスケア
- チームビルディング
- ホスピタリティ
- 急変対応・予防



必須研修とポジコが
一緒になってパワーアップ！

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための確認テストがついています。
※全ての職員の受講履歴を一括管理できます。

医療・患者安全

タイプ A「ポジコ」

ポジティブコミュニケーションの切り口から事例動画で見せる

医師監修：元・国立がんセンター中央病院院長／公益財団法人ときわ会顧問 土屋了介氏
監修：公益財団法人ときわ会 常磐病院 医療安全管理部 副部長／薬剤師 仲本広世氏
解説：放送作家／日本初の漫才セミナー講師 Wマコト 中山真氏／中原誠氏

1 返事ひとつで人間関係が深化する

2 共通こそがお互いの距離をグッと近づける

3 表情ひとつで安心感が生まれる

4 話し合いが上手い人のコツ

5 陽口でみんなハッピー

6 相手の心の扉を開く方法

7 ミスを報告しやすい上司になる方法

8 謝り上手になろう

9 成長し続ける人の聴き方

10 チームワークを高める意識改革

11 愛され先生の廊下の歩き方

12 届ける際の一言掛け

13 指示出しと指示受けで大事なこと

14 こまめな声かけでトラブルを減らそう

15 講演会・勉強会で勇気を出して質問

16 ほめ上手になろう

17 ミスやエラーのとりえ方

18 メールでいきなり依頼は失礼かも

19 患者さんと一緒に確認

20 確認は頻繁にした方がいい

21 ひとりで悩まず相談しよう

22 個人情報の会話は慎重に

23 多職種連携で仕事の質を高める

24 「わかりません」が1番大事

25 ルールがある理由を知っておこう

2025年度追加予定！

タイプ B「講義」

WHO 患者安全カリキュラムガイドをベースにした医療・患者安全研修

各講義：20分程度

監修：京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村 由美 氏

内 容	WHO患者安全カリキュラムガイド	講 師
1 患者安全の基本	患者安全とは	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村 由美 氏
2 ヒューマンファクターズ	患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性	京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 特定病院助教 植野 司 氏
3 安全文化の醸成	システムとその複雑さが 患者管理にもたらす影響を理解する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村 由美 氏
4 チーミング	有能なチームの一員であること	京都大学医学部附属病院初期診療・救急科 / 救急部 教授・部長 大鶴 繁 氏
5 インシデント報告と分析	エラーに学び害を防止する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 助教 加藤 果林 氏
6 リスクの理解と管理	臨床におけるリスクの理解とマネジメント	順天堂大学 健康データサイエンス学部 教授 山本 憲 氏
7 品質改善の手法	品質改善の手法を用いて医療を改善する	京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 助教 染谷 真紀 氏
8 患者安全への患者参加	患者や介護者と協同する	京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻 特定准教授 岡田 浩 氏
9 コミュニケーション	患者や介護者と協同する	京都大学医学研究科 婦人科学産科学 助教 江川 美保 氏
10 医薬品の安全管理	投薬の安全性を改善する	京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 助教 山本 崇 氏
11 心理的安全性と医療安全	有能なチームの一員であること	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村 由美 氏
12 ダブルチェックの落とし穴	患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村 由美 氏

ポジコについて

「ポジコ」とは



コミュニケーション講師 Wマコトの解説/
監修 仲本氏による資料付き！

人は自分の振る舞いや態度について、自分のことはよく見えていないもの。ポジコは正に「**人の振り見て我が振り直せ**」で学べる教材です。ポジコは繰り返し受講できるeラーニングシステム。スタッフに毎年受けてもらって、学習効果を高めましょう！



まずはサンプル動画をご視聴ください

サンプル動画



届ける際の一言掛け

QRコードから動画をご視聴いただけます。



指示出しと指示受けて大事なこと

QRコードから動画をご視聴いただけます。



京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 **松村 由美 氏**



医療安全を楽しみながら学ぶ、そういった新しいタイプの教材が「ポジコ」。ポジコというネーミングは、ポジティブコミュニケーションからきています。

医療安全にとって重要な課題は何かをご存知でしょうか。

先進国では「コミュニケーションや協働の失敗」が有害事象の背景要因の第一位であると報告されています。

医療の技術や知識がすぐれていても、コミュニケーションの失敗が重大な結果につながります。「でも、どうやったらコミュニケーションの研修ができるの？」そうなんです。難しいような気がしますね。だったら、是非、ポジコをご視聴してください。笑いを交えながら、コミュニケーションのコツを学べる教材です。

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための**確認テスト**がついています。
※全ての職員の**受講履歴を一括管理**できます。

感染予防対策

各講義：20分程度

監修：埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 教授 **岡 秀昭** 氏

内 容	講 師
1 感染予防対策の基本	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 教授 岡 秀昭 氏
2 感染対策に関する組織とルール	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
3 スタンダードプリコーション	埼玉医科大学 医学部 総合医療センター 感染症科・感染制御科 助教 川村 隆之 氏
4 手指衛生と感染予防	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
5 感染経路別予防策	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
6 針刺し予防策と対応	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 助教 西田 裕介 氏
7 代表的なワクチン接種	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
8 感染症における経過の見方	2025年度追加予定！ 埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
9 2025年度 感染対策トピックス	2025年度追加予定！ 埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏

NEW!

災害対策

各講義：20分程度

監修：厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 **小井土 雄一** 氏

内 容	講 師
1 病院における災害（総論）	厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 小井土 雄一 氏
2 災害時の病院管理 ～CACSTTT	愛知医科大学 災害医療研究センター センター長/教授 津田 雅庸 氏
3 災害時の情報共有	愛知医科大学 災害医療研究センター 助教 柴田 隼人 氏
4 災害時の患者安全 ～いかに継続診療を提供するか？	地方独立行政法人神奈川県立病院機構本部 理事長 阿南 英明 氏
5 災害時の多職種連携のポイント ～院内活動	厚生労働省 DMAT事務局 事務局次長 三村 誠二 氏
6 平時の災害対策 ～計画と準備	厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 小井土 雄一 氏
7 地域包括BCP ～地域での役割	愛知医科大学 災害医療研究センター 講師 高橋 礼子 氏
8 災害時のメンタルヘルス	愛知医科大学病院 看護部、愛知医科大学 災害医療研究センター クリティカルケア認定看護師/特定看護師 川谷陽子 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための**確認テスト**がついています。

※全ての職員の**受講履歴を一括管理**できます。

重症度、医療・看護必要度

各講義：20分程度

監修：関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 **箕浦 洋子** 氏

内 容	講 師
1 概論・アセスメント共通項目	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
2 A項目の評価方法	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
3 B項目の評価方法	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
4 C項目の評価、まとめ	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏

BLS

各講義：20分程度

監修：吉田学園医療歯科専門学校 副校長 / シミュレーションセンター長 **三上剛人** 氏

内 容	講 師
1 医療者のためのBLSアルゴリズム	吉田学園医療歯科専門学校 副校長 副校長 / シミュレーションセンター長 三上 剛人 氏
2 BLSスキルトレーニング	吉田学園医療歯科専門学校 副校長 副校長 / シミュレーションセンター長 三上 剛人 氏
3 BLS実践	吉田学園医療歯科専門学校 副校長 副校長 / シミュレーションセンター長 三上 剛人 氏

メンタルヘルスケア

各講義：20分程度

監修：筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 准教授 **高橋 晶** 氏

内 容	講 師
1 支援者支援の考え方、ラインケア～病院としての対応	筑波大学医学医療系災害・地域精神医学 准教授 高橋 晶 氏
2 医療従事者が受ける衝撃的なストレス ～バーンアウトしないために	筑波メディカルセンター病院 精神看護専門看護師 木野美和子 氏
3 若手看護師のメンタルヘルス	順天堂大学医学部附属練馬病院 精神看護専門看護師 山口久美 氏
4 看護管理職のメンタルヘルス	順天堂大学医学部附属練馬病院 精神看護専門看護師 山口久美 氏
5 組織によるメンタルヘルスのラインケア	筑波メディカルセンター つくば総合健診センター 看護部長 光畑 桂子 氏
6 効果的なセルフケア ～心と体のストレッチマインドフルネスとコンパッション	慶應義塾大学健康マネジメント研究科 精神看護専門看護師 佐藤 寧子 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための**確認テスト**がついています。

※全ての職員の**受講履歴を一括管理**できます。

チームビルディング

各講義：20分程度

監修：筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 **前野 哲博** 氏

内 容	講 師
1 チームビルディング&リーダーシップ① チームビルディングの原理原則	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
2 チームビルディング&リーダーシップ② リーダーシップの基礎	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
3 コンフリクトマネジメント～今日から使える対応術	筑波大学総合診療科/ life story合同会社 福田 幸寛 氏
4 コミュニケーション～今日から使える対応術	筑波大学総合診療科/ life story合同会社 福田 幸寛 氏
5 フィードバック技法	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 前野 哲博 氏
6 ミーティングファシリテーション① ファシリテーションの基本構造編	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
7 ミーティングファシリテーション② 心構えと基本スキル編	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
8 安全で効果的な技能教育	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 前野 哲博 氏

ホスピタリティ

各講義：20分程度

監修：関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 **箕浦 洋子** 氏

内 容	講 師
1 病院におけるホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
2 病院職員のホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
3 看護職員のホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
4 ホスピタリティの実際	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏

急変対応・予防

各講義：20分程度

監修：令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 **増山 純二** 氏

内 容	講 師
1 患者急変対応時の院内医療体制	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
2 患者急変対応フローチャート① 患者急変の病態変化と緊急度・重症度	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
3 患者急変対応フローチャート② ABCDEアプローチ	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
4 患者急変対応フローチャート③ 看護問題 急性増悪/合併症評価	令和健康科学大学看護学部看護学科 苑田 裕樹 氏
5 患者急変対応フローチャート④ 臨床推論	令和健康科学大学看護学部看護学科 苑田 裕樹 氏
6 患者急変対応フローチャート⑤ 救急処置・緊急検査・再評価・SBAR報告	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための**確認テスト**がついています。
※全ての職員の**受講履歴を一括管理**できます。

2025年度 追加!

身体的拘束最小化

各講義：20分程度

監修：帝京大学 医療技術学部看護学科 教授 / 精神看護専門看護師 寺岡 征太郎 氏

内 容	講 師
1 身体的拘束最小化の基本的考え方（総論）	名古屋市立大学大学院 看護学研究科精神保健看護学 准教授 / 精神看護専門看護師 桐山 啓一郎 氏
2 組織で取り組む身体的拘束最小化チームづくり	筑波メディカルセンター病院 老人看護専門看護師 石井 智恵理 氏
3 慢性疾患における急性増悪時の身体的拘束最小化の取り組み	日本赤十字看護大学 広尾キャンパス成人看護学 准教授 / 慢性看護専門看護師 河田 照絵 氏
4 一般病棟における身体的拘束最小化をめぐる精神看護	名古屋市立大学大学院 看護学研究科精神保健看護学 准教授 / 精神看護専門看護師 桐山 啓一郎 氏
5 身体的拘束最小化に取り組む看護管理者の役割	公益社団法人 石川県看護協会 会長 小藤 幹恵 氏

2025年度 追加!

意思決定支援

各講義：20分程度

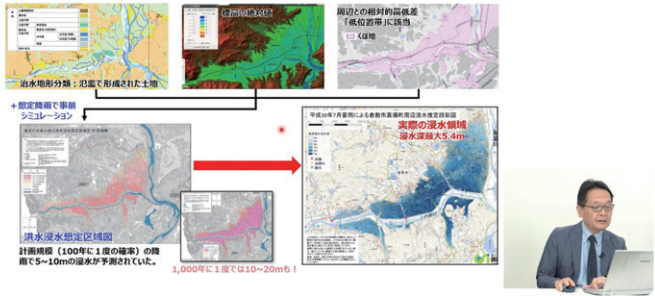
監修：医療法人社団悠翔会 看護事業部長/悠翔会訪問看護ステーション東京 NPO法人楽患ねっと 副理事長
医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏

内 容	講 師
1 アドバンス・ケア・プランニングの基本的考え方（総論）	岩手保健医療大学 成人看護学 教授 臨床倫理研究センター長 三浦 靖彦 氏
2 意思決定支援の理解と活用	岩手保健医療大学 成人看護学 教授 臨床倫理研究センター長 三浦 靖彦 氏
3 意思決定支援の手順と方法	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏
4 患者・家族からの意思決定支援の相談事例（病院）	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏
5 患者・家族からの意思決定支援の相談事例（在宅）	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏

※講師の所属・肩書きは講義収録当時のものです。 ※内容は予告なく変更する場合があります。

講義イメージ

Step1.ハザード環境の把握（立地特性）
平成30年7月豪雨で51名死亡、1,200ha浸水、最大浸水深さ5.4mの倉敷市真備町



〔災害対策〕
病院における災害（総論）

厚生労働省 DMAT事務局長 小井土 雄一 氏

患者から暴力を受けた看護職員へのケア
3.ストレスを乗り越えるためには・・・



〔メンタルヘルス〕
医療従事者が受けやすいストレス（バーンアウトしないために）
筑波メディカルセンター病院 / 精神看護専門看護師 木野美和子 氏

こんなお悩みはございませんか？

医療・患者安全編

オススの研修

コース一覧は p2 へ

「施設全体でインシデントレポートの提出が少ない」

[ボジコ] 17 ミスやエラーの捉え方

[ボジコ] 7 ミスを報告しやすい上司になる方法

[講義] 11 心理的安全性

の受講がオススメです。インシデントレポートを提出する意義やインシデントに対する考え方、適切な受け止め方について学べます。



[ボジコ] 17. ミスやエラーの捉え方



[ボジコ] 7. ミスを報告しやすい上司になる方法

安全文化とは

- ・医療者が、安全管理システムを通じて、努力して維持する文化
- ・各自が、自分、同僚、患者、訪問者の安全に対し責任をもつ文化
- ・何よりも安全を優先する文化
- ・安全上の問題を特定し、解決の努力を惜しまない文化
- ・組織が事故から学ぶ文化

上記に、資源や説明責任を提供する文化



[講義] 11. 心理的安全性

「周りとうまくコミュニケーションを取れない職員がいる。職場の人間関係を良くしたい」

[ボジコ] 10 チームワークを高める意識改革

[ボジコ] 2 共通こそがお互いの距離をグッと近づける

[ボジコ] 5 陽口でみんなハッピー

[講義] 4 チーミング

の受講がオススメです。職場の人間関係を良好にするためのテクニックが学べます。



[ボジコ] 10. チームワークを高める意識改革

「確認ミスや伝達エラーなどのインシデントが多い」

[ボジコ] 13 指示出しと指示受けて大事なこと

[ボジコ] 19 患者さんと一緒に確認

[ボジコ] 20 確認は頻繁にした方がいい

[講義] 5 インシデント報告と分析

[講義] 12 ダブルチェックの落とし穴

の受講がオススメです。コミュニケーションを通じてエラーを防ぐ方法などが学べます。

エラー分類：mistake

- ・正しく実行はできたが計画自体が間違っていたもの（押そうと意図したボタンが誤りだった）
- ・見間違い、聞き間違い、勘違い
- ・ベテランであるが故の（expertise）の失敗
- ・知識・経験の欠乏による失敗
- ・対策：正しいルールを繰り返し教育・訓練する



[講義] 5. インシデント報告と分析

「職員の接遇をもっと良くしたい」

[ボジコ] 3 表情ひとつで安心感が生まれる

[ボジコ] 14 こまめな声掛けでトラブルを減らそう

[講義] 9 コミュニケーション

の受講がオススメです。患者さんへの対応の仕方について学べます。



[ボジコ] 14. こまめな声掛けでトラブルを減らそう

必須研修を使った医療安全の 集合研修 / グループワーク研修

監修 仲本広世氏（常磐病院 医療安全管理者/ 薬剤師）が提案する院内研修の進め方

実施例

必須研修は e ラーニングで1人でも学べますが集合研修/グループワークでもご活用いただけます。
以下の方法で活用してみましょう！



（講師 + 受講者 複数名）

集合研修

- 1 必須研修の中から1コースを選ぶ
- 2 選んだコース動画を、受講者に見せる
- 3 講師が受講者へ
「コース動画と似たような経験がないか？」
「動画を見てどう感じたか？」を質問する
- 4 受講者に類似の実体験やコース動画の
感想を答えてもらう
- 5 ③④を数名続ける
- 6 講師自身が過去に経験したことのある
コース動画の類似の体験を話す
講師に体験談がなければ、コース動画の
感想を話す
- 7 コース動画の解説・まとめ部分で言っていた
内容を、再度講師が話して締める

- コース動画によりますがこれで30分程度の研修になります。
- 1時間の研修を行う際は2～3コースを使って①～⑦を繰り返すとよいでしょう。



（講師 + 複数の数名グループ）

グループワーク研修

- 1 必須研修の中から1コースを選ぶ
- 2 選んだコース動画を、最初から
最後の解説まで受講者に見せる
- 3 講師から受講者へ
「コース動画と似たような経験がないか？」
「動画を見てどう感じたか？」「職場の全
スタッフをコース動画の“良い例”のようにす
るには、どうすればいいか？」を、グループ内
で話し合ってもらう
- 4 ③を複数のグループで続ける
- 5 講師自身が過去に経験したことのある
コース動画の類似の体験を話す
講師に体験談がなければ、コース動画の
感想を話す
- 6 コース動画の解説・まとめ部分で言っていた
内容を、再度講師が話して締める

- コース動画によりますがこれで30分程度の研修になります。
- 1時間の研修を行う際は2～3コースを使って①～⑥を繰り返すとよいでしょう。

良い研修にするコツは

「自分たちの実体験」を織り交ぜて話す こと。
“楽しい必須研修”をやってみましょう！

コソッと

必須研修eラーニングを医師に見てもらう方法

実施例

忙しい医師へ
必須研修に興味をもってもらうために
うってつけのコース動画があります。
こちらの方法で、医師にアプローチしてみましょう！



(医療安全担当者 + 医師の先生方)

1 「医師名」「必須研修のログイン方法」などが書かれた下記のような案内をつくる

〇〇先生

この度、当院で導入した必須研修eラーニング研修です。
お時間ある際にご視聴いただきますよう、お願い申し上げます。

受講コース 医療・患者安全

[ポジコ] No11 「愛され先生の廊下の歩き方」

必須研修	ログイン方法	ID	=====
		PASS	=====

成功の ポイント

「〇〇先生」と【個人名】を案内に入れてみましょう。
宛名を【医師各位】とするより、個人宛に出すことで案内の効果が高まります。

2 案内を医師のデスクやレターBOXなどに、ソッと置いておく

3 数日待つ

4 案内を出した医師へ、さり気なくeラーニングを見てくれたか聞いてみる

- **ポジコ11** 「愛され先生の廊下の歩き方」は、医師に必須研修へ興味をもていただくのに適しています。
- このコース視聴をきっかけに、他のコースも医師に勧めてみましょう。きっと見てくれますよ。

必須研修の利用者の声

利用者の声

総合せき損センター 看護部長 河野 一美 様



これまで院内で医療安全研修を行うのに、だんだん話のネタがなくなってきてしまい、YouTube などの動画サイトにまで手を伸ばして医療安全の講習の題材探しをしたのですが、探すのに時間がかかったり、著作権が気になったりしておりました。

そんな時にポジコを知り、医療安全研修として使ってみることにしました。

面白いだけで医療安全として物足りないのではないか？ という声もありましたが、一緒にきちんとした医療・患者安全プログラムも含まれているため、安心して集合研修にも使っています。

ご利用料金（税抜）

全日本病院協会会員 受講人数に関わらずID無制限	月額 10,000 円
非会員 受講人数に関わらずID無制限	月額 15,000 円
有床診療所 受講人数に関わらずID無制限	月額 10,000 円

●1年毎の年間契約となります

●契約に変更がない場合は、1年で自動更新されます

●支払方法は一括払いと月額払いの2種類があります

●複数施設としてお申込みの場合は別途相談に応じます

お申込みの流れ

01 お申込み

Web サイトのお申し込みフォームからお申込みください

02 登録用紙を送付

必要な書類をお送りいたしますので、ご記入ください

03 ご利用開始

ログインに必要なユーザー ID を人数分ご用意いたします

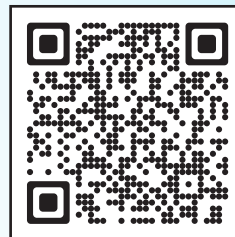
まずはWebサイトのお申し込みフォームへ

https://s-que.net/apply-form/required_training-form/



2週間の無料トライアル実施中！ お申込みはこちら

※プログラムの「必須研修」を選択してお申込みください。



お問い合わせ

ヴェクソンインターナショナル株式会社(S-QUE研究会事業部)

フリーダイヤル **0120-128-774** (受付: 平日10:00-17:00)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-15 NTF竹橋ビル8階

MAIL: support@s-que.net

エスキュー

Q検索

S-QUE研究会
Training Packages for Nursing Departments

